

同志社大学(学部入学定員:5,780人(平成24(2012年)度))

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

同志社本学は、建学の精神である「良心教育」を実現するため、教育理念として「キリスト教主義」、「自由主義」並びに「国際主義」を掲げている。本構想は、高度な外国語運用能力を基礎的資質としつつも、キリスト教の徳育に基づき、**自由でのびやかな進取の気性に溢れ、「良心を手腕に運用する」ことのできる、「考動する」グローバル人材(Global Competenceを有する人材)を輩出**することを目的とする。

【構想の概要】

本構想では、有機的に連携した2つの教育プログラムである、留学を含む教育実践取組の「留学型」と、国内にいながらグローバル人材と成り得る教育を実践する取組の「国内型」を設定する。これによって、最終年度には「**留学型1,800名、「国内型」1,200名**のグローバル人材を育成できる環境・プログラムを創出する。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

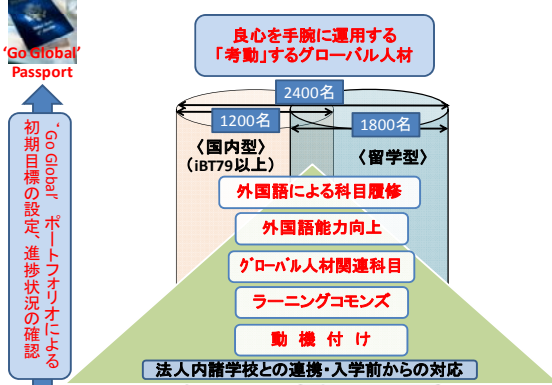
改組された「学習支援・教育開発センター」において、教員に向けての教育支援のみならず、全学的体制での学生の主体的な学びの支援体制を構築する。具体的には、①シラバスの充実等、②ナンバリング制度の導入、③GPA等の厳格な成績評価とその活用、④ラーニング・commonsにおけるアカデミック・コーディネーターを中心とした多様な学修支援体制(能動的学修の推進等)の構築、⑤留学コーディネーターを中心とした留学奨励・支援活動の展開(「Go Global」ポートフォリオの導入等)の諸策を講じる。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信+事務体制のグローバル化

英語を中心に、地域別の諸事情を勘案し、**国内外への教育情報の発信**を行う。既存の英文化WGを引き続き開催して、学内文書の英文化を一層促進する。専任職員や新規採用の契約職員、派遣社員等への情報提供・共有を強化し、ボトムアップでのグローバル化推進を行う。学生・教育・国際・研究部門の担当業務におけるグローバル化推進事項の再確認を行い、**全学レベルでのグローバル化を推進**する。



同志社大学 グローバル人材育成推進事業の概要



■ グローバル人材として求められる能力の育成

本取組の数値目標として、平成28年(2016年)度末において、TOEFL-iBT 79点相当(TOEFL-PBT 550点、TOEIC 730点)を満たす学生数+卒業時における「単位取得を伴う海外留学経験者数」(重複を含まず)を、平成28年(2016年)度の**卒業生数の約40%(約2,400名)**とする。具体的な数値目標を以下の通り設定する。

- ① 入学者全員(100%、約6,000名)を対象に、プレースメントテストを実施し、能力別クラス編成の基準に資すると共に、本取組の種々のプログラムに参加するための基礎能力スコアとし、「Go Global」ポートフォリオの利活用によって、適宜、自己達成度の確認を行う。
- ② 卒業時まで取組の全てあるいは一部に参加する**学生数を約50%(約3,000名)**とする。
- ③ 卒業時まで「留学型」あるいは「国内型」の取組として所定のプログラムを修了し、一定の基準を満たす成績優秀者に授与される「Doshisha “Go Global” Passport」を取得する**学生数を約40%(約2,400名)**とする。
- ③ 「留学型」としては、各学部が新規に開発する「専門型留学プログラム」の参加者約10%(約600名)を含み、種々の正規科目の留学プログラムに参加する**学生数を約30%(約1,800名)**とする。

③ 「国内型」としては、新設の「Intensive Courses for TOEFL(仮称)」の履修によって、TOEFL-iBT 79点相当以上を約**20%(約1,200名)**以上に、更に、その内、TOEFL-iBT 92点相当以上を約10%以上(約600名)とする。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

推薦選抜入試(公募制)並びに推薦入学(指定校制)において、TOEFLやTOEICのスコアを出願・推薦要件とすることを、段階的に**全学部実施へと展開・拡大**する。また、法人内4高等学校にも、これらの資格試験を高等学校段階で受験させる。また、平成25年(2013年)設置予定のグローバル地域文化学部では、「ヨーロッパ共通言語参照枠」でのA2相当を、推薦選抜入試(公募制、指定校制)及び法人内4高等学校からの推薦条件とする。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

「留学型」「国内型」を問わず、外国語(新設の「Intensive Courses for TOEFL(仮称)」を含む)、単位認定を伴う海外研修及び「グローバル人材関連科目(仮称)」から16単位以上を修得し、GPAが3.3以上の学生には「Doshisha “Go Global” Passport」を授与し、表彰する。英語では、入学時のプレースメントテストによる習熟度別クラス編成を全学体制で実施する。英語以外の外国語については、その外国語能力のスタンダードを「ヨーロッパ共通言語参照枠」B1レベルに定める。更に、大学入学以前に取得していた**語学資格を、入学後の語学単位として認定**すると共に、ラーニングアグリーメントに基づき、留学先で取得した単位を積極的に認定する。**アカデミック・ライティングの個人指導**については、**ライティング・インストラクターを雇用・配置**する。留学準備に向けた体験型学習の一環として、「**英語合宿**」を実施する。

■ 教員のグローバル教育力の向上+日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 教育体制のグローバル化+グローバル教育力向上のための取組

教育体制のグローバル化では、教員採用について**国際公募による競争的な環境での選考**を原則とする。任期付教員についても、積極的に外国人教員を採用するように努める。**グローバル教育力向上**のために、「学習支援・教育開発センター」による海外事例紹介のための講演だけでなく、国際教育インスティテュート主催の学士課程レベルの英語授業の実践に関するワークショップ等を展開する。また、グローバル教育力の段階的な養成のために、学内から海外への展開を視野に入れた教員による実際の授業現場体験・研修を通して、英語による実践的教育力の養成を図ると共に、学生参加による実践授業や**合同授業(チーム・ティーチング)**を実施する。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組+留学中から帰国後にわたるサポート体制

本取組では、入学前段階から、法人内の高等学校を巻き込んだ一貫教育のメリットを最大限に活かし、留学に向けた事前オリエンテーションの実施やTOEFL等の資格試験対策講座を提供し、早期段階における留学への誘導を図る。また、在学中は、留学コーディネーターが、留学前指導、留学中から帰国後のサポートまでを一括して、メンタル面も含めた留学指導及び情報提供等の恒常的な支援・指導を行う。留学を促進するために、各種海外留学プログラムを合わせて、最大で**計35プログラムにまで拡充**する。



卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

同志社大学が目指すグローバル人材とは、良心に基づいて、自らの責任で思考し、行動できる、「良心を手腕に運用する」「考動する」人材である。卒業時まで学生が修得すべき具体的能力としては、① TOEFL-iBT 79点を基本標準とする高度な外国語運用能力、② 日本と世界の近現代史及び世界の諸宗教についての十分な理解力、③ 専門教育によって培われる専門領域の知識、④ 他者を理解し、他者に配慮できる、バランス感覚に優れた感性と品性、⑤ グローバル社会における「公正」と「正義」の実現を求める高度な倫理性が挙げられる。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				407人	688人	909人	1,200人
うち海外留学未経験者数 (A)				224人	310人	443人	579人
海外留学経験者数 (B)		695人	711人	835人	1,175人	1,450人	1,800人
卒業[予定]者数 (C)		5,505人	5,804人	5,753人	5,950人	5,753人	6,015人
比率 ((A+B)/C)				18.4%	25.0%	32.9%	39.6%
神	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		2(1)	4(2)	8(4)	9(6)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	15/55	6/72	10/70	15/80	20/61	27/60
文	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		63(19)	87(28)	110(35)	120(43)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	140/655	119/670	133/670	188/670	210/670	235/670
社会	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		29(0)	40(0)	56(15)	63(40)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	34/449	26/464	66/445	89/469	106/426	120/450
法	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		105(70)	125(60)	150(50)	155(45)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	70/870	57/880	72/880	131/870	184/860	236/850
経済	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		40(40)	60(58)	80(78)	90(80)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	192/850	163/850	165/850	198/850	222/850	245/850
商	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		80(60)	110(90)	140(110)	148(135)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	149/846	154/877	161/882	174/937	196/831	223/850
政策	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		24(0)	34(4)	48(9)	58(30)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	35/331	24/396	42/375	74/375	95/375	110/375
*文情	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当、国連英検A級相当		23(7)	31(12)	42(19)	47(30)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	14/256	8/280	22/280	41/280	54/280	71/280
理工	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		20(18)	40(36)	80(74)	95(90)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	11/780	11/780	14/780	31/780	50/760	110/760
*生命	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		0(0)	10(2)	25(16)	48(28)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	20/202	22/210	10/210	16/210	20/210	46/210
*入健	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		6(5)	12(11)	25(22)	39(36)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	5/135	2/183	5/175	13/165	23/156	40/210
心理	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当		15(4)	20(7)	25(11)	28(16)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	8/76	4/142	15/136	25/149	30/154	37/150
【英語】*GC	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点相当、IELTS6.0		0(0)	74(0)	80(0)	80(0)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	2/-	74/-	80/-	80/74	80/80	80/80
【中国語】*GC	卒業時の外国語カスタンダード	中国語検定2級、漢語水平考試(HSK)5級		0(0)	41(0)	40(0)	40(0)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	0/-	41/-	40/-	40/41	40/40	40/40
*GR	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL-iBT 79点、CEFR B1相当		0(0)	0(0)	0(0)	180(0)
	海外留学経験者数/卒業[予定]者数	-	-	0/-	60/-	120/-	180/180

単位(人)

*文情:文化情報学部、生命:生命医科学部、入健:スポーツ健康科学部、GC:グローバル・コミュニケーション学部、GR:グローバル地域文化学部(平成25年(2013年)度開設)

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。